

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月 28日

事業所名 可児市子ども発達支援センターくれよん 職員23名

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	23	0	0	・法令に従って療育スペースを確保しています。 ・ホールに個別療育スペースを5ヶ所設置するなどの工夫をしたり、部屋割り表で、指導室の振り分けを行い、児童の特性に応じて部屋を使うようにしています。	現状を維持します。
	2	職員の配置数は適正であるか	21	2	0	法令に従って職員を配置しています。	引き続き、適正に職員を配置し、職員の育成に取り組めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備などはバリアフリー化や情報伝達への配慮が適切にされているか	23	0	0	・分かりやすく、構造化された環境づくり(絵カード等)に努めています。 ・視覚的な刺激になるものは設置しないようにしています。	現状を維持するとともに、必要に応じて環境を調整します。
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また子どもたちの活動に合わせた空間になっているか	23	0	0	清掃を行うとともに、全室空調設備を整え、活動に適切な空間の維持に努めています。 令和2年度より、全室に空気清浄機を配置しています。	現状を維持します。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	23	0	0	可児市組織目標にそって、業務の目標設定を各職員が行い実績を評価する体制をとっており、全職員が取り組んでいます。	今後も目標設定と振り返りを行い、業務改善に取り組めます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	23	0	0	「保護者評価」を実施し業務改善を行っています。	今後も保護者による「事業所評価」を行い、業務改善に努めます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	23	0	0	ホームページで公開しています。	ホームページに最新の情報を公開していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	23	0	0	運営委員会で評価をいただき、改善に努めています。	運営委員会でのご意見をもとに改善に努めます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	23	0	0	所内研修を定期的実施するとともに、外部研修(オンライン研修等)への参加を勧めています。	所内研修においては専門家を講師としてお招きし、資質の向上を図ります。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	23	0	0	アセスメント表や保護者との面談により、保護者のニーズを把握しています。	引き続き、アセスメントを適切に行い、支援計画を作成していきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	23	0	0	・事業所でアセスメント表を作成しています。 ・発達検査、ポータープログラム、TASPなどを実施しています。	お子さんや保護者の状況を適切に把握できるよう、随時アセスメント表の見直しを行います。

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23	0	0	お子さんや保護者のニーズに沿って、長期目標や短期目標を設定し、目標を達成するための具体的な課題や支援内容、留意点を表記しています。	引き続き、ガイドラインに沿い、発達支援、家族支援、地域連携を明確にした支援計画を作成していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	23	0	0	児童発達支援計画をもとに個別療育、グループ療育、集団療育、親子療育のプログラムを立案し、個々に合わせた支援を行っています。	引き続き、支援計画に沿った支援を行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	23	0	0	未満児、年少児、年中児、年長児の学年主任を中心に活発に意見を出し合い立案しています。また、個々の特性や発達状況に合わせて、担当者が学年課題を調整して療育しています。	現状を維持します。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	23	0	0	利用児の発達状況に合わせたプログラムを作成し、実践後の反省や改善点を次回に活かしています。	現状を維持します。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	23	0	0	発達特性に合わせて、個別活動とグループ活動を組み合わせています。個別活動では、利用児の興味や関心に合わせた課題を設定し、ねらいが達成できるようにしています。	現状を維持します。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	23	0	0	前月中に次月の課題を大まかに決定し、職員間で前回の療育での反省点と対応について確認するなど、支援前日までに細かく打ち合わせを行っています。	職員間の連携、打ち合わせを継続します。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	23	0	0	職員間で、療育後に次回へ改善する点などを確認し、次の療育での対応を検討しています。	引き続き、支援終了後には振り返りを行い、改善点を共有していきます。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	21	2	0	日々の記録を作成し、支援内容の改善に努めています。	現状を維持します。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	23	0	0	半年に1回、保護者と面談し、支援計画の見直しをしています。	現状を維持します。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	23	0	0	くれよん内の相談支援事業所の相談支援専門員と連携し、支援を行っています。	現状を維持します。
関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	23	0	0	健康増進課、子育て支援課、保育課、教育研究所と連携し支援を行っています。	現状を維持します。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	23	0	0	・健康増進課、福祉支援課、保育課等の担当者と連携し支援を行っています。 ・リハビリの見学などを行っています。	現状を維持します。

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	23	0	0	・主治医や協力医療機関等との連携体制をとっています。 ・訪問看護を利用している通所児について、事業所と定期的に情報交換を行っています。	現状を維持します。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	22	0	1	・就園に関する保護者の意向を聞き取り、子どもの状況に合わせた支援を共に考えています。 ・就園前に、園の先生に療育を見学していただいたり、くれよんでの様子や対応方法を書面にして、保護者の同意を得て就園先に情報共有しています。 ・プロフィールブックを活用しています。	現状を維持します。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	22	0	1	・子どもの様子や対応方法を書面にし、保護者の同意を得て就学先に情報共有しています。 ・プロフィールブックを活用しています。	現状を維持します。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	22	0	1	・岐阜県発達障害者支援センターに講師派遣を依頼し「ペアレント・トレーニング」の研修を計画しました。 ・ネットワーク研究会を開催し、他事業所との指導方法について研究討議を計画しました。	引き続き、専門機関との連携に努めます。
	28	保育所、認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	22	0	1	・隣接した保育園に出かけ、交流をしています。 ・年少児以上の未就園児が保育園の同学年と園交流を行いました。	隣接した保育園との行事時等の交流の継続します。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	22	0	1	可児市福祉支援課や子育て支援課の実施する子どもに関する会議に参加しています。	現状を維持します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	22	0	1	療育終了後、懇談を行い、状況を共有しています。	現状を維持します。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	22	0	1	年長児・年中児の保護者を対象にペアレント・トレーニングを実施し、保護者支援を行っています。	現状を維持します。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	22	0	1	利用開始時に、事業所利用や利用負担について説明を行っています。	より、分かりやすく丁寧な説明を行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	22	0	1	お子さんや保護者のニーズに沿って、長期目標や短期目標を設定し、目標を達成するための具体的な課題や支援内容、留意点を押さえた支援計画を分かりやすく説明した後、同意を得ています。	引き続き、ガイドラインに沿い、発達支援、家族支援、地域支援を明確にした支援計画を作成し、分かりやすく説明した後、同意を得ていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	22	0	1	保護者からの依頼に対応し、担任及び児童発達支援管理責任者が相談・助言を行っています。	現状を維持します。

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	22	0	1	親の会と共催で、講演会を開催するなど活動を支援しています。	現状を維持します。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	0	1	個別支援計画等で、相談体制について周知し、対応しています。	引き続き、相談や申し入れがあった場合には迅速かつ適切に対応していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	23	0	0	会報はありませんが、個別の案内等の他に、掲示板、「すぐる」などを利用し、情報提供しています。	保護者に情報が周知できるよう、掲示方法を工夫していきます。
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	23	0	0	個人情報保護条例及び可児市個人情報保護条例施行規則により、個人情報の管理を徹底しています。	現状を維持します。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	23	0	0	一人ひとりの状況に応じて、分かりやすく、丁寧な対応に努めています。	現状を維持します。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	23	0	0	コロナウイルスの蔓延時より、『音楽会』などの行事を中止しており、隣接の保育園の園児や多文化共生センターフレビア「ひよこ教室」のお子さんを招待できませんでした。	今後、状況をみながら検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	23	0	0	・マニュアルを策定しています。暴風警報などの発令時にはマニュアルに基づき対応し、保護者に周知しています。	マニュアルの周知と必要に応じた改訂・訓練を行っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	23	0	0	年に3回、地震及び火災を想定した避難訓練を実施しています。	定期的に訓練を行います。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握しているか	23	0	0	保健安全カードにより、状況を把握し必要に応じて救急医療情報シートを作成しています。	お子さんの健康管理、状況把握に努めます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	23	0	0	食物アレルギーについて調査し、アナフィラキシーショックについて等、医師の指示に基づき対応しています。	アレルギーに対応できるよう研修を行います。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	23	0	0	・ヒヤリハットメモを活用し、職員間で共有しています。 ・危険な箇所やヒヤリハットを朝礼や職員会で共有しています。	引き続き、事故防止に努めます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	23	0	0	虐待防止チェックリストを活用し、防止に努めています。	現状を維持します。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	23	0	0	身体拘束について検討した事例は、過去も現在もありません。	身体拘束が必要になるケースがあった場合は、関係機関や医師の助言や保護者の意向を確認し、お子さんにとって必要な対応であるかを見極め、検討させていただきま

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。